



赤い羽根共同募金運動への御協力をお願いします。



運動期間 10月1日～

皆様からの心温かい募金は南区の福祉事業に役立てられています。

高齢者見守り活動等
高齢者福祉活動



ボランティア育成等
住民全般の福祉活動



子育てサロン活動等
児童・青少年福祉活動



地域交流事業等・
障がいのある方への福祉活動



インターネットからも募金できます!
より詳しい活用事例もこちらから!



赤い羽根 共同募金 クイズ!

答えは下段に記載しています

Q1

赤い羽根共同募金運動はいつから始まったでしょう?

- ① 1947年
- ② 1967年
- ③ 1987年

Q2

赤い羽根共同募金の羽はどうして赤色なのでしょう?

- ① 募金活動のときに目立つから
- ② 勇気と良い行いのシンボルだから
- ③ 創設者が赤色が好きだったから



子育て支援ルーム「すくすくみなみ」ボランティア募集中!

乳幼児とその保護者の方が一緒に遊んだり、参加者同士が気軽に交流できるスペースです。

詳しくはこちら



子育て支援ルーム
「すくすくみなみ」
(南区役所別館 2階)

詳しくはこちら



ボランティアの皆さん

キラキラ笑顔のこどもたちに囲まれる空間で、楽しく遊んだり、みまもつたりのボランティアさん募集中です。たくさんの笑顔があなたの参加を待っています。



日常生活自立支援事業 生活支援員募集中

高齢者や障害のある方が、安心して生活するためのお手伝いをしませんか?

活動内容は?

- ◆ 福祉サービスの利用に関する相談や助言など
- ◆ 家計相談や必要な支払いへの助言
- ◆ 支払いの同行や代行
- ◆ 郵便物の管理

生活支援員になるには?

- ① 京都市内に通勤可能な方
- ② 満75歳未満の方
- ③ 実際に生活支援員として活動できる方(最低月1回程度)



生活支援員として活動するためには、所定の研修受講が必要です。

詳細については、南区社協までお問合せください。

発行

社会福祉法人 京都市南区社会福祉協議会

〒601-8441 京都市南区西九条南田町1番地の2 南区役所別館 2階

TEL.075-671-1589 FAX.075-671-3840

WEB: <https://www.m-syakyo-kyoto.jp/>



WEBサイト



かすぐるま



京都市南区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
みなみちゃん

笑顔の創造、社協から!



子どもの居場所づくりに
取り組んでいる皆さん
「子どもの居場所づくりネットワーク
情報交流会(7月11日開催)」



ますます広がる

どんどんつながる

こどもの居場所づくりネットワーク

南区社会福祉協議会では、南区内で子ども食堂やフリースクールなど、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを行っている団体のネットワークづくりを進めています。

「子どもたちのために何か支援したい」という気持ちに寄り添い、行政や企業、地域住民の方々と協働しながら、居場所づくり活動の運営サポートを行っています。

南区の子ども食堂



高齢者等ふれあい事業

ふれあいと交流で、心も豊かに

各学区の社会福祉協議会が主催で、高齢者の仲間づくりや見守りなど、地域で孤立しないようにつながりづくりを目的として行っています。

コロナ禍では対面の交流も制限されましたが、やはり「顔を合わせておしゃべりをする」ということはつながりづくりの基本です。



事務局長



一人暮らしの方の会食会



居場所づくり「仲良し倶楽部」

区域で年間79回実施

会食会:32回 居場所づくり:23回 茶話会:7回
配食サービス:14回 敬老事業:3回

健康すこやか学級

さあ、はじめよう、健活!

高齢者の健康づくり、生きがいづくり、そして社会参加の促進の機会にもなることを目的に実施しています。

多くの方が気軽に参加され、多様な出会いやつながりが生み出される住民の地域福祉活動の拠点を目指しています。



地域支援担当



心も体も元気に!



楽しく脳を活性化

区域で年間267回実施

高齢者のべ3,949名参加

コミュニティサロンみなみ

ゆるやかな“つながり”の場

認知症の方やこころの病のある方、また地域住民の方など多様な方が参加し、物作りや談話などを通して、ゆるやかなつながりづくりの場として開催しています。

毎月第3金曜日、南老人福祉センターで開催していますのでお気軽にご参加ください。見学もOKですよ。



地域あんしん支援員



植物を使用した物作り(押し花のポーチ)



ボランティアによる健康体操

年間12回実施

のべ336名参加

南区社協の 主な取組紹介

(実績は令和5年度のもの)

あなたが応援したい活動はどれですか?

住民の力で福祉の風を

スマホサポート講座

大学生が高齢者に スマホの使い方をサポート

高齢者の方のスマホ操作の困りごとを大学生がボランティアでサポートする講座として開催しました。

「アプリのインストール」や「LINEでの写真の送り方」など、それまでわからなかったことも一気に解決!

大学生にとっては異世代交流の機会にもなり大変有意義な活動になっています。



統括地域福祉コーディネーター



異世代交流で会話も弾みます!



お困りごとは人それぞれ

年間3地域で実施

高齢者のべ28名参加
ボランティアのべ17名参加

子育てサロン

ママ・パパ・赤ちゃんの “ゆったりスペース”

地域の民生委員さんなどが運営され、気軽におしゃべりや情報交換ができる場です。おもちゃづくりや絵本の読み聞かせ、クリスマス会など季節の行事を行っているサロンもあります。

子育てに関する情報については、「南区トコトコお出かけマップ」をご覧ください!



地域福祉コーディネーター



大人も子どもみんな笑顔に!



可愛いおもちゃに興味津々♡

南区トコトコ
お出かけマップ



区域で年間94回実施

親子のべ964人参加

地域支え合い活動創出事業

みんなの“気づき”と “やる気”をカタチに

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるよう、集いの場や、見守り、ボランティアなどの地域の皆さんの活動を支援し、高齢者をつなぐため、日々活動をしています。

「暮らしの中でちょっとした困りごとがある」、「地域のために何かしたい」などお気軽にご相談ください。



地域支え合い活動
創出コーディネーター



企業と連携した移動販売



福祉施設を活用した健康づくり

地域支え合い活動創出
コーディネーターとは

京都市が地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービスの創出や担い手の養成、ネットワークの構築を目的として、各区社会福祉協議会に配置しているコーディネーターです。

ごあいさつ

平素は、南区社会福祉協議会の活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

当法人は、平成元年に社会福祉法人となり、以来35年余りにわたって、「住民の力で福祉の風を」を合言葉に様々な地域福祉活動に取り組んでまいりました。

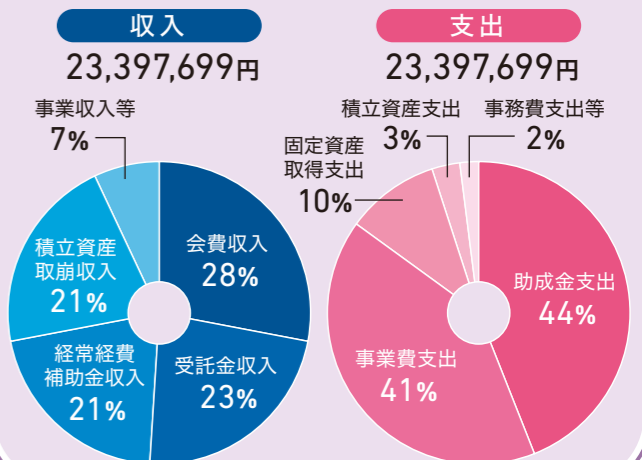
近年は、人と人とのつながりが希薄化し、福祉の課題も複雑化・多様化していますが、社会福祉協議会としては誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めることを使命として活動を進めてまいりたいと考えております。

住民の皆様にもさまざまなお知恵やアイデアをいただきながら、住民自治に根差した福祉活動の充実を考えてまいりたいと思いますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



社会福祉法人
京都市南区社会福祉協議会
会長 中村 喜代子

令和5年度 決算報告



令和5年度 賛助会員募集活動ご協力のお礼

令和5年度の賛助会員募集にあたり、南区全体で6,311,250円の御協力をいただきました。たくさんのご協力ありがとうございました。なお、3口以上ご加入いただきました企業・団体様につきましては、本会ホームページで、ご報告掲載をさせていただきます。



詳しくはこちら

